

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜前期募集）

専門科目「学校臨床心理学」（1／2）

学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修

以下の注意事項をよく読み、次頁からの問題に解答しなさい。

注意事項

- ① この試験問題の構成と配点は以下の通りである。

問題1から4：〔2頁〕

4つの問題の中から2つの問題を選んで解答すること。

配点は、1問あたり100点。2問で200点。

- ② 解答用紙の（ ）の中に、選択した問題の番号を記入すること。
答案が解答用紙に書ききれなくなった場合は、当該の解答用紙の裏面に続けて書くこと。

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜前期募集）
専門科目「学校臨床心理学」（2／2）

以下の問題1から4の中から、2つの問題を選択し、解答用紙に解答しなさい。

（各100点、計200点）

＜注意＞ 解答用紙の（ ）の中に、選択した問題の番号を忘れずに記入すること。

問題1.

Pauline Boss が提唱した「あいまいな喪失」には2つのタイプが存在する。それぞれのタイプについて簡潔に説明した上で、学校現場においてどのような形で出会う可能性があるか論じなさい。

問題2.

授業における学習形態の交互転換について、それぞれの学習形態の特性を整理しながら、その指導のあり方について子どもたちの学びと自治を促進する立場から論じなさい。なお、この問題における学習形態としては、少なくとも、一斉授業、班学習（またはグループ学習）、ペア学習、個別学習の4つを採り上げるものとする。

問題3.

光背効果（ハロー効果）、教師期待効果について説明しなさい。そして、これらの現象を踏まえた上での教師の指導・援助における留意点を、2つの効果のいずれかと関連付けながら論じなさい。

問題4.

近年、障害のある子どもの教育支援において就学後の学びの場を柔軟に見直しできるようにすることが必要であると言われている。就学後の学びの場の柔軟な見直しについて論じなさい。その際、以下の3つの語句を必ず文章中に使用し、解答中の全ての各語句に二重線を引くこと。

（語句）

個に応じた適切な指導

子どもの教育的ニーズの変化

継続的な教育相談

